

記者発表				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当者)	その他配布先
1月16日(水) 14:00	県立考古博物館 埋蔵文化財課	079(437)5595	副館長兼総務部長 木下吉明 (埋蔵文化財課長 中川 渉)	西播磨県民局

福井池の下遺跡（相生市若狭野町福井）の発掘調査成果と現地説明会について

内 容

一般国道2号相生有年道路改築事業に伴って、兵庫県教育委員会は(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して、福井池の下遺跡（ふくいいけのしたいせき）他の発掘調査を進めています。

これまでの調査の結果、弥生時代中期から古墳時代の集落跡等が見つかりました。調査成果を広く県民に公開するため、下記のとおり現地説明会を開催します。

【調査成果】

別紙1「福井池の下遺跡調査成果の概要」のとおり

【現地説明会】

日時：平成31年1月19日(土) 13:30～15:00

場所：福井池の下遺跡発掘調査現場（相生市若狭野町福井）

【資料】 別紙1、2

〈現地説明会にかかる問い合わせ先〉

福井池の下遺跡他発掘調査現場事務所

担当 別府洋二副課長、西山昌孝臨時的専門職員

TEL 0791(28)1388

(平日 12:10～13:00、17:00～18:00)

〈遺跡の内容にかかる問い合わせ先〉

(公財)兵庫県まちづくり技術センター

担当 埋蔵文化財調査部調査部次長 甲斐 昭光

TEL 079(437)5561 (平日)

兵庫県立考古博物館

担当 埋蔵文化財課長 中川 渉

TEL 079(437)5595 (平日)

福井池の下遺跡調査成果の概要

- 1 遺 跡 名 福井池の下遺跡（ふくい池のしたいせき）
- 2 遺跡の種別 集落遺跡
- 3 遺跡の時代 弥生時代中期、古墳時代前期・後期
- 4 所 在 地 相生市若狭野町福井
- 5 調 査 面 積 約 2,400 m²
- 6 調 査 期 間 10月4日～2月15日（予定）
- 7 調 査 原 因 一般国道2号相生有年道路改築事業
- 8 調 査 主 体 兵庫県教育委員会
- 9 調 査 機 関 （公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
別府洋二副課長、西山昌孝臨時的専門職員

10 調査の概要

福井池の下遺跡は千種川水系である矢野川中流域の盆地状に開けた地形のほぼ中央部に位置しており、隣接している昨年度の調査地では古墳時代後期の竪穴住居跡や弥生時代中期の土器溜まりなどが見つかっています。

(1) 弥生時代中期

昨年度の発掘調査で見つかった土器溜まりの延長部分を調査しました。土器溜まりは、谷状の窪地に弥生時代中期後半の土器などが大量に投棄されたものです。壺・甕・高杯などの土器や加工した木材などが出土しており、すぐ近くに同時代の集落が存在したことがうかがえます。

西端の地区では円形の竪穴住居跡や土坑・溝など弥生時代中期後半の遺構を検出しており、集落の一部を確認しました。上記の土器溜まりとは約100m離れており、比較的規模の大きな集落が存在していた可能性があります。

同時期に属する遺物には土器の他にサヌカイト製の石鏃や石包丁、太型蛤刃石斧、柱状片刃石斧などがあります。

(2) 古墳時代前期

方形の竪穴住居跡を2棟検出しました。うち1棟から焼けた建築部材や焼土などが出土しており、火災に遭って廃棄されたと考えられます。もう1棟は旧河道によって一部削られています。

(3) 古墳時代後期以降

昨年度の調査で、古墳時代後期後半の竪穴住居跡を確認しています。今回、西端の地区で検出した旧河道は、幅が12m以上あり、弥生時代中期から平安時代前期頃までの各時期の土器が出土し、平安時代の後期には完全に埋没しています。この旧河道は古い時代の矢野川であった可能性があります。

11 まとめ

- ① 若狭野町周辺では、弥生時代には一定規模の集落が営まれていたことがわかりました。その後、古墳時代前期や後期の竪穴住居跡も見つかっており、断続的に人々が生活していたことが判明しました。
- ② 古墳時代後期以降も旧河道から見つかった土器などから集落跡が近隣に存在する可能性があります。



福井池の下遺跡遠景（東から）



F 地区の調査状況
（集落跡と旧河道 東から）



多量に出土した弥生時代中期
の土器